

武藏野
小金井
櫻順道
繪圖

関野新田先周丈

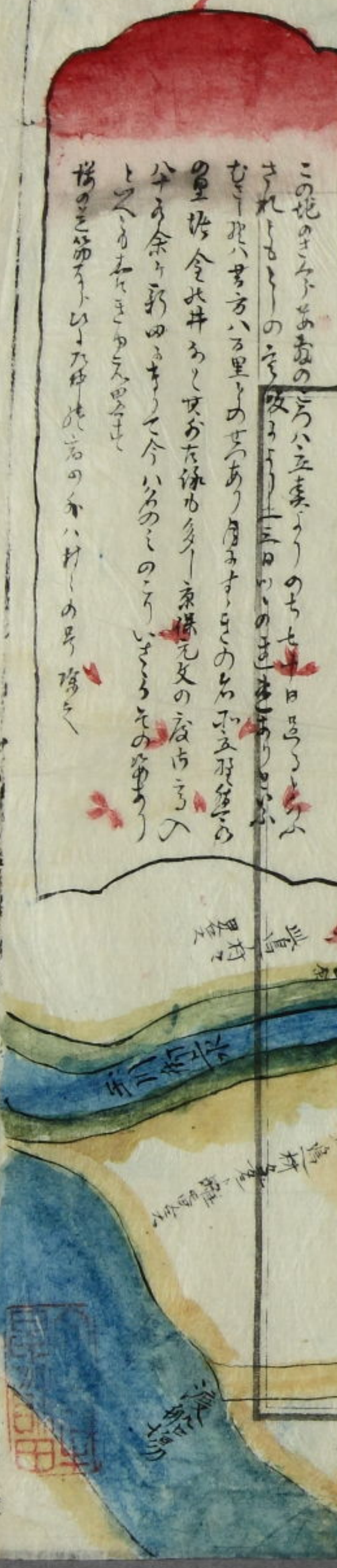


大木戸ヨリ堀之内一里共丁堀之内ヨリ大宮二十丁余大宮ヨリ井頭一里半余井頭ヨリ小金井橋一里二丁小金井橋ヨリ府中二里半府中ヨリ百草十一里半余百草ヨリ四ツ子二里八丁四ツ子ヨリ小金井橋一里半

武藏野... 櫻順道... 繪圖... 関野新田先周丈... 武藏野... 櫻順道... 繪圖... 関野新田先周丈... 武藏野... 櫻順道... 繪圖... 関野新田先周丈...

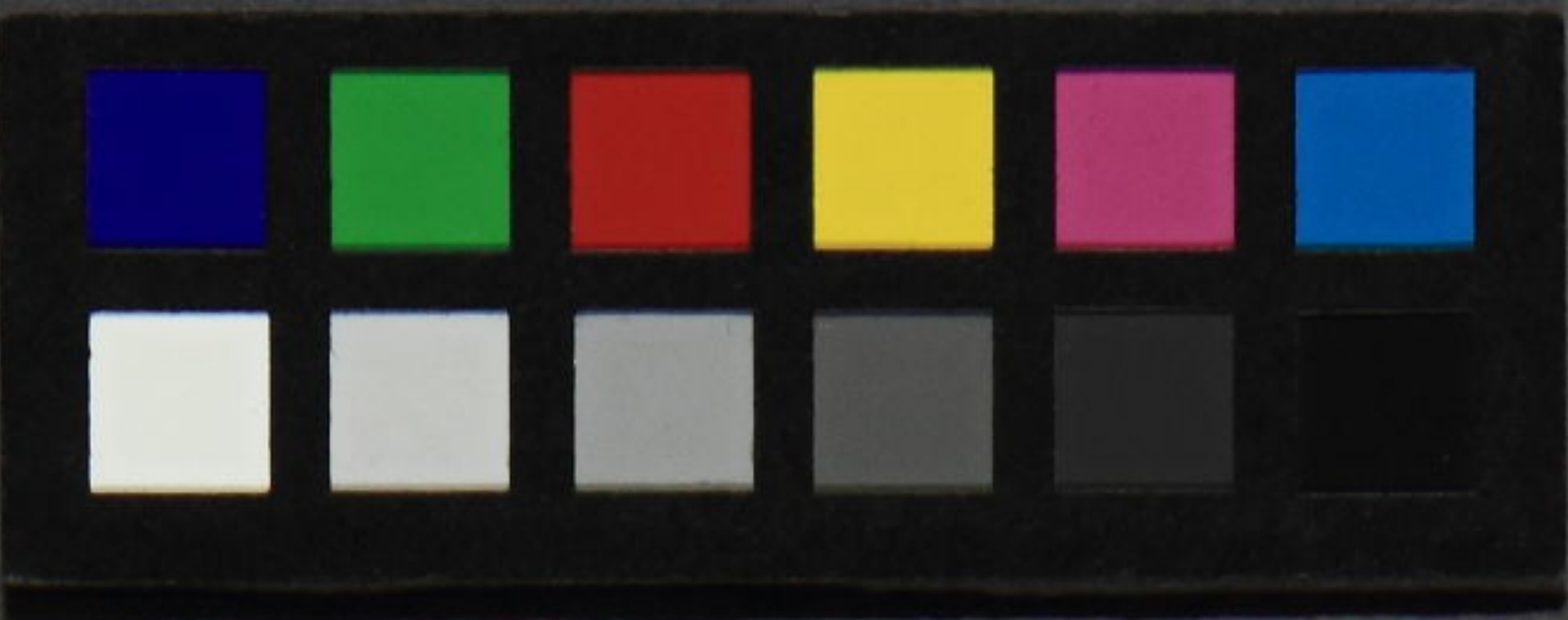


海畔寺... 武藏野... 櫻順道... 繪圖... 関野新田先周丈... 海畔寺... 武藏野... 櫻順道... 繪圖... 関野新田先周丈...



この地... 武藏野... 櫻順道... 繪圖... 関野新田先周丈... この地... 武藏野... 櫻順道... 繪圖... 関野新田先周丈...





関野新田地先用文

武藏野 小金井 櫻女順道 繪圖



大木戸ヨリ堀之内五 一里共丁
堀之内ヨリ大宮工 十丁余
大宮ヨリ井ノ頭工 一里半余
井ノ頭ヨリ小金井橋工 一里五丁
小金井橋ヨリ府中工 一里半
府中ヨリ百草二 一里半余
中野村ヨリ田無三 二里八丁
田無村ヨリ小金井橋三 三丁余

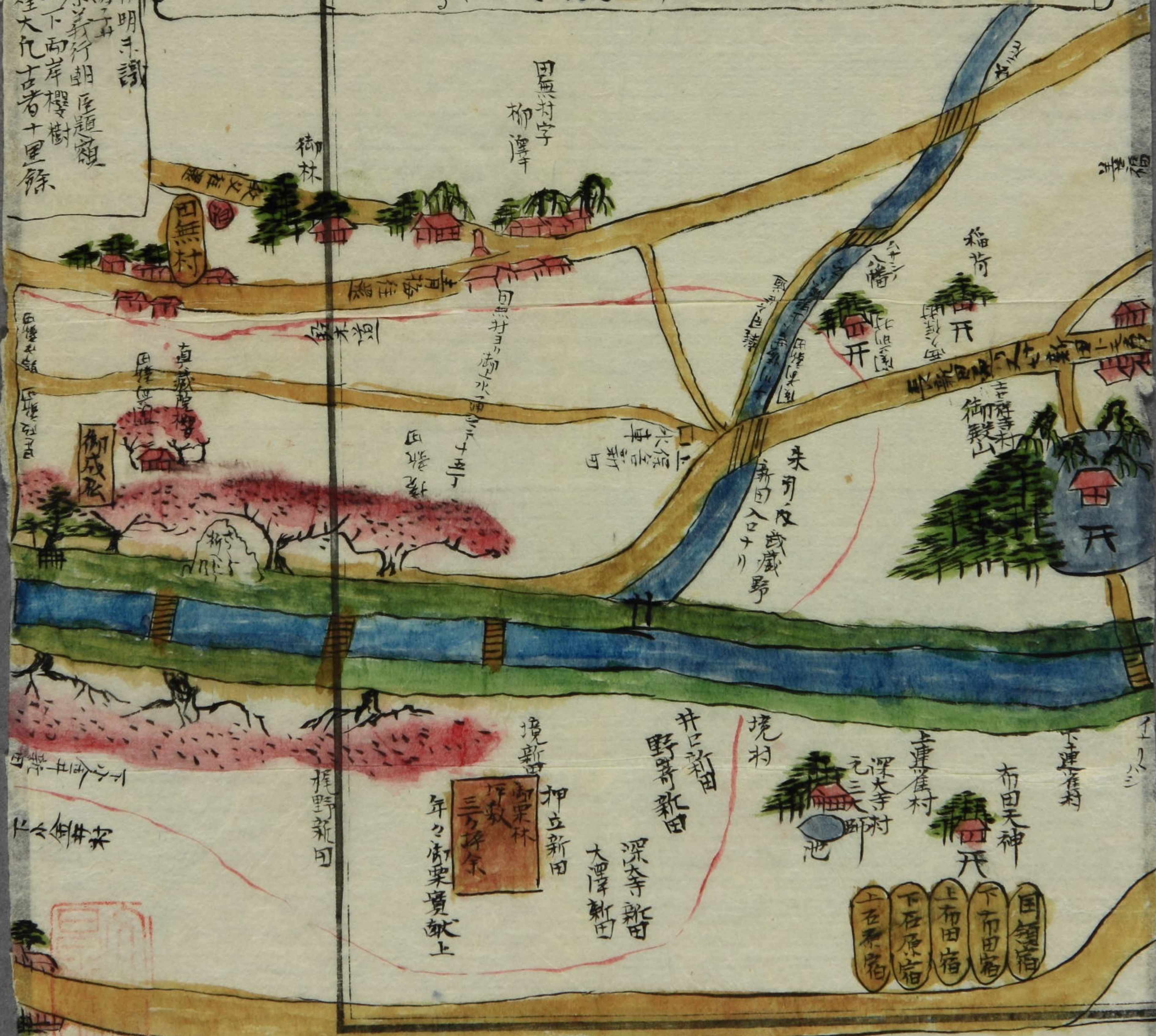


表方
さくら下なること一ノ、槐中道人書

桜樹伝記

兼魚のむろ多麻部水処を築きよる川を
引いて十里の遠道をはなれ、
大塚五八ははらるる村に、
既田佐料の助とせしる元公の仁澤より
ありけり、
この寸筋ありとて、
よ、
ほつちり、
て、
よ、
て、
よ、
て、
よ、
て、
よ、

金
小全井櫻樹碑文
井北州多野郡五川上水
肥前守藤原義行朝臣
小全井井上西岸櫻樹
定之所鐘大九古者十里餘
御成取
御林
御成取



海 岸 寺 門 前 碑 文

金井 肥前守藤原義行朝臣題額
 武州多麻郡玉川上水小金井橋上下兩岸櫻樹
 有漸時川崎平左衛門定孝之所種大凡古者十里餘
 今二里間千株餘云初定孝及武野能聞役與而有功
櫻樹 兼解謁司郎於是子請而承 朝命採芳野及諸邦在
 種難種之郎氏子來封植承 畢實元文二年丁巳歲也
 其舉慮衆根深入堤中而長無壞關之患則 兩岸樹數
 六而南岸葉茂北岸花盛者徒或相其陰陽度其便宜
文碑 春隨艷陽悅往來目夏障於光使 行旅憩且閑花鮮美聯加
 清碧落英繽紛深汚穢又且吾 一東方匠家一二方必櫻
 竹如及花掩用解毒劑則水毒亦可 解况兩岸千樹相蔭聯直
 流徑入 東都何毒之有宜僥 幸之助哉前十餘
 所薦於鬼神每於公庭 誠忠用心 參予仁政一助哉前十餘
 年余誘及石予與鄉里親 舊覽多廢而中名區擇優
 者八所與子亭議定其目各 附親辭當事處其一金橋櫻花
 即此所也遂題為武野八景 標以公予世於是人處奇勝欲
 一覽者不數爾後游入每春 相倍發野路餘舍有摩馬蹄連
 騷人詞客吟詠相競異說 稍聞 奈恐 吾題辭相混亂人
 為齒齟與子亭同就定孝 孫川喜 中藏于押立村實訪始於
 三人相謀刻石防遠于永 世銘曰
 物之隱顯遲速有時千株 之櫻十里水涯兩岸相均初種者
 誰司即定孝徒何教之 芳野他山遠採爰移多種 大矣牟美
 花期瞻望低心遠若雲 離披土人惜 自種未甚奇况 都人豈
 曾聞知俄然一顯遊 密進道徒 識先後遲 驛時哉今顯
 成堂宜花宜林種者 功功亦也
 文化七年春三月二十一日建
 中慶堂刻

この地のさくらあな家のころは五葉うらの七七日日さくらあな
 されともこのさくらあな家のころは五葉うらの七七日日さくらあな
 むい北八世方八里とのせあり月あすまのあな五葉あな
 の里舎金井ありて其あな保元文のあなありて
 今も余り新あなありて今もあなありて
 とこのあなありて
 桜のさくらあな家のころは五葉うらの七七日日さくらあな

